

みなとみらいの誕生



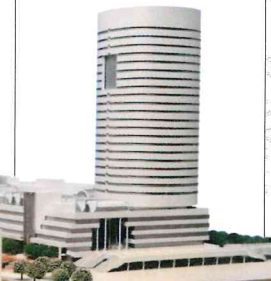
Waterfront City YOKOHAMA



2017 10月7日(土) 2018 1月8日(月・祝)

開館時間: 午前9時30分～午後5時(券売は閉館30分前まで)
※11/3(金・祝)、12/23(土・祝)、1/8(月・祝)は午後7時まで開館します
休館日: 毎週月曜日、年末年始(12/28～1/3)
※ただし10/9(月・祝)、1/8(月・祝)は開館し、10/10(火)は休館します。
観覧料: 一般300円 / 小・中学生150円
この料金で当館常設展および横浜ユーラシア文化館もご覧いただけます。
毎週土曜日、小・中学生と高校生は無料です。

主催: 横浜都市発展記念館 共催: 横浜市教育委員会 協力: 横浜市史資料室
後援: 朝日新聞横浜総局 / 神奈川新聞社 / 東京新聞横浜支局 / 日本経済新聞社横浜支局
毎日新聞横浜支局 / 読売新聞横浜支局 / NHK横浜放送局 / TOK



■昭和40(1965)年、横浜市はあらたな都市づくりの構想として「六大事業」を発表しますが、そのひとつが都心部強化事業でした。

これは開港以来の都心部であった関内地区と、戦後急速に発達した横浜駅周辺地区とを、その中間に位置する臨海部の再開発によって一体化しようとするもので、この構想をきっかけに、当時造船所や貨物ヤードが広がっていた臨海部は、新都心「みなとみらい」として大きく姿を変えていきます。

■構想から50年がすぎた現在も、みなとみらいは発展を続けています。

本展示では、明治の横浜船渠(ドック)設立から平成の横浜ランドマークタワー建設まで、みなとみらい誕生にいたるウォーターフロントの変遷をたどります。



展示構成

プロローグ - みなとみらい原風景 -

I ドックと貨物の時代 - みなとみらい前史 -

- (1) 横浜船渠の設立 (2) 税関拡張工事と貨物線
(3) 震災後の港湾整備と横浜船渠 (4) 造船業の戦後復興

II ウォーターフロントへのまなざし

- (1) 飛鳥田市長と六大事業 (2) 基本構想の検討

III みなとみらい21の始動

- (1) 「みなとみらい21」着工へ (2) 横浜博覧会YES'89
(3) 水と緑と歴史に囲まれた都市



関連企画 EVENTS

展示解説

展示担当者が見どころを解説します。

日時：10月14日(土)14時～、11月3日(金・祝)17時～
12月23日(土・祝)17時～、1月6日(土)14時～
各回30分程度

参加費：無料(ただし観覧券が必要です)

講演会【全2回】

みなとみらいの整備に直接携わったお二人の方から、みなとみらいの誕生秘話をうかがえます。

【第1回】

11月23日(木・祝)「みなとみらいの都市デザイン」

講師：国吉直行(横浜市立大学 特別契約教授/元・横浜市都市整備局 上席調査役 エグゼクティブアーバンデザイナー)

【第2回】

12月2日(土)「横浜ランドマークタワーとドックヤードガーデン」

講師：恵良隆二((公財)横浜市芸術文化振興財団 常務理事/元・三菱地所株式会社)

各回 14時～15時30分

会場：横浜開港資料館 講堂(横浜市中区日本大通3)

参加費：全2回で1,000円

定員：各回80名(応募多数の場合は抽選)

締切：11月6日(月) 必着

歴史クルーズ

「海から見る〈みなとみらい〉」(ミニ講座つき) ※荒天中止

当館でのミニ講座ののち、ピア象の鼻からポートに乗って、みなとみらい地区や横浜ベイブリッジなどをめぐる歴史クルーズです。

協力：京浜フェリーボート株式会社

日時：①11月1日(水)10時～、②11月1日(水)13時30分～、
③11月5日(日)13時30分～ 各回2時間程度

集合：当館1階ギャラリー

参加費：一般3,500円、小・中学生2,000円

定員：各回20名(応募多数の場合は抽選)

締切：10月20日(金) 必着

ワークショップ

「みなとみらい今昔 オリジナル絵葉書を作ろう! 第2弾他」

毎週末および祝日に当館1階で開催。申込み不要です。

参加費：無料

「講演会」「歴史クルーズ」の応募方法

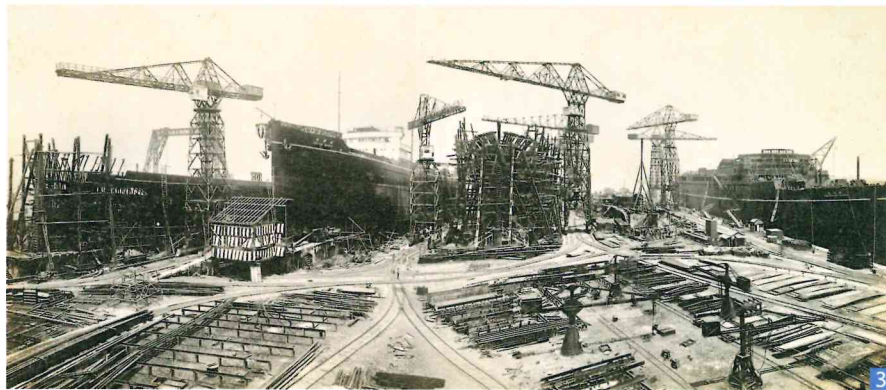
往復はがきに住所・氏名(ふりがな)・電話番号を明記のうえ、下記住所宛にお申込みください。

- ・1通につき2名様まで。2名様でお申込みの際は、同伴者のお名前もお書きください。
- ・歴史クルーズの場合は、参加希望回もお書きください。小・中学生が参加される場合は、その旨もご記入ください。

※EAMハヤメ会員の方は、優先的に申込みを受け付けます。お申込み時に会員No.をご記入ください。

宛先：〒231-0021 横浜市中区日本大通12

横浜都市発展記念館 「講演会」係または「歴史クルーズ」係



1「都心臨海部総合整備基本構想図」『都心臨海部総合整備計画 21世紀への都市づくり』(昭和56年)より 横浜市中心図書館所蔵 / 2パンフレット「都心臨海部総合整備計画の愛称を募集」 昭和56(1981)年 横浜みなと博物館所蔵 / 3横浜船渠株式会社造船台 昭和4(1929)年 横浜市史資料室所蔵 / 4アンドロスケープ号の進水式 昭和31(1956)年 三菱重工業(株)横浜製作所所蔵 / 5みなとみらい21事業起工式 昭和58(1983)年 神奈川新聞社所蔵



アクセス

- 東急東横・みなとみらい線日本大通り駅(3番出口)0分
- 横浜市営地下鉄ブルーライン関内駅(1番出口)から徒歩約10分
- JR京浜東北・根岸線関内駅(南口)から徒歩約10分
- 横浜市営バス「日本大通り駅県庁前」から徒歩1分

横浜都市発展記念館

〒231-0021 横浜市中区日本大通12 Tel.045-663-2424

横浜都市発展記念館 検索

チラシ表面資料

[上]石造ドック活用イメージスケッチ 昭和55(1980)年頃 文化庁国立近現代建築資料館所蔵

[中央左]横浜船渠第2号ドック 明治36(1903)年 恩地薫氏所蔵・横浜開港資料館保管

[中央中]上空からみた横浜造船所 昭和31(1956)年 三菱重工業(株)横浜製作所所蔵

[中央右]建設中の横浜ランドマークタワー 平成3(1991)年 神奈川新聞社所蔵

[下左]パンフレット「LANDMARK TOWER」平成5(1993)年 当館所蔵

[下右]都心臨海部イメージスケッチ 昭和55(1980)年頃 文化庁国立近現代建築資料館所蔵